

郡中 進路だより

No.25 令和 4年10月28日
大村市立郡中学校
チーム郡 思いを力に!
文責:進路指導主事 増田弘実

大村工業高校について

大村工業高校は、就職希望者の就職率100%を誇る専門学科の学校です。先輩方が各地の企業で活躍していて、そのことが好調な就職につながっているそうです。

就職だけでなく長崎大学や佐賀大学などへの進学者もいます。

入試について

募集学科・募集定員

学科名	募集定員	前期選抜		後期選抜
		A特色選抜	B文化スポーツ特別選抜	
機械科	80名	40名	7学科合計で 16名以内	募集定員から前期選抜での合格者数を除いた数
機械システム科	40名	20名		
電気科	40名	20名		
電子工学科	40名	20名		
建築科	40名	20名		
建設工業科	40名	20名		
化学工学科	40名	20名		

通学区域は県全域なので、学区外合格者の設定はありません。

前期選抜の選抜方法

選抜区分	検査の方法	各検査項目の比重			
		調査書等	面接	作文	
A特色選抜	全学科	作文・面接	4	4	2
B文化スポーツ特別選抜		面接	5	5	

後期選抜の選抜方法

	各検査項目の比重			各教科の配点				
	調査書等	学力検査	面接	国語	社会	数学	理科	英語
全学科	4	5	1	100	100	100	100	100

傾斜配点はありません。

各学科について

機械科 ものづくりのための設計、製図、機械工作等の基礎科目から、原動機やコンピュータによる機械制御まで、機械に関する広範囲な学習活動を行う。

機械システム科 機械に関する基本的な知識・技能の習得に加え、それらを制御する技術(シーケンス制御・NC制御・CAD/CAMなど)の基礎について学習し、高度生産システムに柔軟に対応できる機械技術者の育成を目指す。

電気科 電気を作り、送り、使うための基礎的な理論を学ぶとともに、実験・実習を通して理解を深める。

電子工学科 電気理論、トランジスタやICを用いた電子回路等の基礎的な学習に加え、通信・制御やコンピュータについての学習を行う。

建築科 建築全般についての基礎理論の学習、更に設計・製図を通して基礎理論の統合を図り、実践的な能力を育成する。

建設工業科 市民生活に直結した土木技術の基礎的な学習に加え、土木技術に機械工法を取り入れた実習を行う。

化学工学科 化学物質や化学工場に関連した基礎的な知識を身につけるとともに、水性ワックス製造プラントの実習などを通して反応操作、機器分析、計測制御、化学装置、工場管理などの技術を習得する。

以前、大村工業の先生に聞いたのですが、次のように考えるといいそうです。

- 機械科** 機械について学習する。
- 機械システム科** 機械を自動制御するための制御技術を学習する。
- 電気科** 発電所から家庭のコンセントまでを学習する。
- 電子工学科** コンセントから先の家電について学習する。
- 建築科** 家を建てる技術を学習する。
- 建設工業科** 地図に載る建造物を作る技術を学習する。
- 化学工学科** 化学物質について学習する。

機械科と機械システム科など、違いがわかりにくい学科も、このように言われると、違いがわかりますね。

進路希望調査について

3年生には、27日までを期限として進路希望調査を入力してもらうようお願いをしていました。3年生は224人在籍していますが、27日のうちに回答が終わった人の数は199人でした。(27日23:02が最後の回答でした) 今回の調査は、11月に行われる三者面談の資料の資料となるほか、県に報告して、県内の中学3年生の進学希望先の動向をみるための資料となるものでした。

「QRコードでの入力が難しい場合は、紙での提出もできます」として、実際に紙で提出した人もいたのですが、期限までに全員の回答が終わらなかったのは、とても残念でした。

しめきりを 守ってニコニコ 明るい笑顔

今回は、三者面談後の進路決定届です。期日に全員の回答が出そろっていることを期待しています。